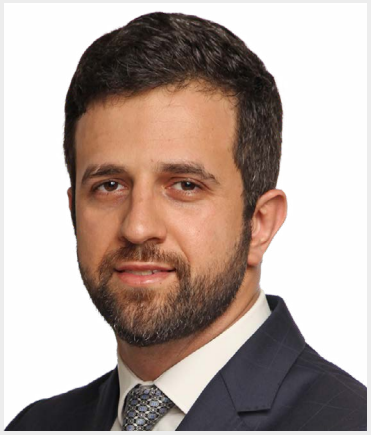
Licks
特許法律事務所



ガブリエル・マチアス
GABRIEL MATHIAS

パートナー

+55 21 3550 3770
+55 21 97609 7815
gabriel.mathias@lickslegal.com

業務分野

- 業務分野
- 契約
- 著作権
- 政府契約
- 訴訟
- 特許
- インフラストラクチャ
- エネルギー
- 仲裁
- 複雑訴訟とADR

言語

- ポルトガル語
- 英語

Gabriel MathiasはLicks特許法律事務所リオデジャネイロ事務所のパートナーで、2018年からチームの重要メンバーとして活動しています。10年の経歴の持ち主で、2007年にリオデジャネイロの著名な商業訴訟会社からキャリアを開始し、その後、別の著名な訴訟業務へ移り、ブラジルの最高裁判所における法的紛争で勝負をしながらスキルを磨きました。

専門は複雑訴訟で、商業紛争、特許、商標、著作権の問題、政府契約、倒産法を含む広範な分野で主要な事例を扱った実績があります。

Licks特許法律事務所に医薬特許紛争のコーディネーターとして入所し、専門知識を情報通信技術（ICT）セクターの複雑訴訟案件で活かしています。最近行われた音響映像コーディング分野最大の多国籍企業が関わる紛争で重要な役割を果たし、世界規模の特許ライセンス契約につなげ、ICT紛争チームのパートナーの一人に昇進しました。

戦略的な手法、司法と行政の手続双方を深く理解していることで知られ、複雑な法的課題に対処する顧客に正確かつプロフェッショナルなテイラーメイドの解決策を提供している、信頼のおけるアドバイザーです。

主な功績

- Legal 500 Latin America — 知的財産（2027年、2026年）;
- IAM Strategy 300（2026年）。

代表的な事例

- ブラジル人財務ダイレクターの顧問として、欧州の大手銀行を支援しました。さらに、ブラジルの大手銀行の代理人として、複数の司法再建手続で食肉処理会社に対処し、信用回復に努めました。

所属

- ブラジル弁護士会 — リオデジャネイロ支部（OAB/RJ）。

学歴

- リオデジャネイロ州立大学（UERJ）民事訴訟法修士号（LL.M）（2014年）
- リオデジャネイロ教皇庁立大学（PUC-Rio）民事訴訟法専攻（2010年）
- リオデジャネイロ州立大学（UERJ）法学士号（LL.B.）（2007年）

執筆・論文

- SEPs and War in the Courts: How Anti-Suit Injunctions and Interim Licenses Influenced Global Litigation in 2025, IPWatchdog, 2025;
- É na recuperação judicial que resgataremos o futebol brasileiro?, Estadão,2021;
- Recuperação judicial para clubes de futebol, O GLOBO, 2020.